

◆◆◆教材の概要◆◆◆

シロクマのクウはもうすぐ2才。クウは毎日、お母さんといっしょに魚を獲る練習をしていた。うまくいかないと、「ねえ、おかあさんがとってよ。」と甘えてしまう。でも、シロクマの子どもは2才になると母親から離れて一人で暮らさなければならない。

この日もクウは、何度も魚を獲ろうとするが一匹も捕まえられず、腕も痛くなりとうとう氷の上に座り込んでしまう。だが、お母さんが自分を見ていることに気付いたクウは、しばらく考え、「よし!」と立ち上がると、ねらいを定めて飛び込み、魚を獲ることができる。その様子を見てお母さんグマは、にっこりと笑う。

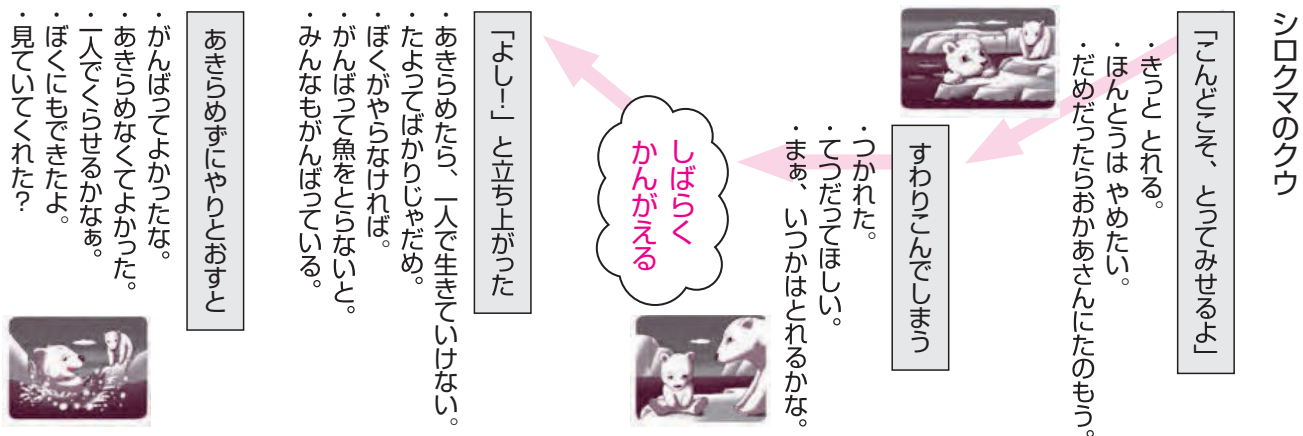
◆◆◆教材の活用◆◆◆

もうすぐ2才になるクウにとって、魚を獲る練習は自分の力だけで生きていくための試練である。「ねえ、おかあさんがとってよ。」と甘えるクウに「どこの子も2才になるとおかあさんと離れて一人で暮らすのよ。自分で食べ物をとれないと困るでしょう。」と優しく諭す母親。何度も何度も挑戦するがうまくいかずとうとう座り込んでしまうクウに児童は共感するだろう。しかし、ここでクウがどんなことを考えて、「よし!」と思って、魚を捕ることができたのかを考えさせたい。この教材を活用することで、自分のことでやらなければならないことは、すぐに助けを乞うのではなく、自分がしなければいけないということを考えさせたい。

◆◆◆中心発問◆◆◆

クウは、どんなことを考えて、「よし!」と立ち上がったのでしょうか。

◆◆◆板書計画◆◆◆



◆◆◆道徳的価値 “くじけず努力すること” について◆◆◆

児童が自立し、よりよく生きていくためには、自分がやらなければならないことはしっかりとやり抜くことが大切である。そこには、何事にも粘り強く取り組み、努力し続ける忍耐力も求められる。ただし、見通しもなく取り組むのではなく、よりよい自己を実現しようとする向上心と結びついてこそ、前向きな自己の生き方が自覚されてくる。そのためにも、児童がより高い目標を立てたり、自分としての夢や希望を掲げたりして、その達成や実現への志をもち、勇気をもって取り組むことができるようにすることが大切である。

◆◆◆学習指導案（本時のねらいと展開）◆◆◆

本時のねらい

くじけそうになっても頑張ろうとしたクウの気持ちを考えることを通して、自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行おうとする道徳的判断力を育む。

本時の展開

	学習活動	発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	・教材について知る。	シロクマは何歳になるまでお母さんと一緒にいると思いますか？ ・8才。ぼくたちぐらいかな？	・教材理解への方向付けをする。 ・シロクマ親子の写真を見せる。 ・シロクマは2才で独立して一人で生きていかなければならない現実を伝える。
展開	・教材を読んで（CDを聞いて）考える。 ・はじめの頃、上手いかないときのクウの気持ちに共感する。 ・「自分で食べ物をとれないと困るでしょう。」と母親に諭されるクウの気持ちを考える。 ・くじけそうになったとき、おかあさんがこちらを見ていることに気付いたクウの心境の変化について考える。 ・達成感や頑張ったときの気持ちを考える。	・上手になりたいなあ。 ・とれるようになるかな。 ・おかあさんがいるから平気だ。 ・疲れたなあ。 ・みんなは一人でとっているのかな。 座りこんでしまったときのクウはどんなことを考えていたでしょう。 ・疲れた。 ・頑張ろう。 ・かっこ悪いなあ ・ちょっとは手伝ってほしい。 ・本当にできるようになるのかな。 ・まあ、いつかはとれるだろう。 クウはどんなことを考えて「よし！」と立ち上がったのでしょうか。 ・このままじゃ、だめだ。 ・おかあさんが応援してくれている。 ・あきらめたら、ぼくは死んじゃうかも。 ・頑張らなければいけない。 ・ここであきらめちゃ、一人で暮らせない。 「やった、やったよ。」と言ったときのクウはどんな気持ちだったでしょう。 ・頑張ってよかった。 ・あきらめなくてよかった。 ・2才になったら、一人で暮らせるかなあ。 ・ぼくにもとれたよ。 ・見ていてくれたかな。	・話の筋が理解できるように、ペープサートで動きを取り入れ、児童の表情や様子を観察する。 ・クウの張り切っている気持ちに共感させながらも、決意が軽いことを押さえる。 ・自分が一人で暮らせるように努力しなければいけない気持ちよりも、おかあさんに言われるから仕方なしに頑張っている気持ちがあることを押さえる。 （手掛かりになる言葉） 「ねえ、おかあさんがとってよ。」 腕がいたくなってきて「あーあ……。」 ・おかあさんの言葉を思い出させ、自分が頑張らなければいけないことなのだというを押さえる。 ・自分がやらなければいけないことに気付き、最後までやり切った喜びを押さえる。
終末	・本時の学習をふり振り返り出会った価値を深める。	クウのように考えて頑張ったことはありますか？	・価値への気付きを明確にし、本時の振り返りをさせる。

評価の視点（例）

- 自分がやらなければならない勉強や仕事をやり切ることの大切さについて考える様子が見られる。